

(1) 「為為為為為為為為為為為為」

(234)×6.5×3 019

一条大路北側溝 S D I H E H O I

「□□□ □ □□□□」
〔右以件カ〕

(2)

□□□ □

(3)

□友

(4)

□

(5)

□□

(6)

□□

(7)

□□

(8)

□□

(9)

「□□」

(10)

(1) は習書木簡。二次的に左右両辺を割り、面取りして箸状に加工している。(2)は文書木簡の断片。(3)も加工痕のある断片。(4)～(10)は削屑で、(4)以外は訛読不能であるが、(6)は同一文字の習書と思われる。

(松崎俊郎・清水みき)

(1) 「為為為為為為為為為為為為」

(116)×(11)×3 081

〔右以件カ〕

(2)

□□□ □

(3)

□友

(4)

□

(5)

□□

(6)

□□

(7)

□□

(8)

□□

(9)

「□□」

(10)

(1) は習書木簡。二次的に左右両辺を割り、面取りして箸状に加工している。(2)は文書木簡の断片。(3)も加工痕のある断片。(4)～(10)は削屑で、(4)以外は訛読不能であるが、(6)は同一文字の習書と思われる。

木 簡 研 究 第五号

卷頭言——木簡史の研究について——

関 晃

一九八二年出土の木簡

概要 平城宮・京跡 平城京一条大路・左京一条一坊十二坪 阿部六ノ坪遺跡 長岡京跡(1)

毫寺遺跡 藤原宮跡 山田寺跡 阿部六ノ坪遺跡 長岡京跡(1)

長岡京跡(2) 長岡京跡(3) 長岡京跡(4) 仁和寺南院跡 大坂城跡

梶子遺跡 道場田遺跡 野烟遺跡 穴太遺跡 下野国府跡 下野

国府跡寄居地区遺跡 長原東遺跡 多賀城跡 扇田柵跡 日野川

朝宮橋下流 桜町遺跡 出合遺跡 辻井遺跡 助三畠遺跡 肩脊

堀の内遺跡 草戸千軒町遺跡 田村遺跡 高畠廃寺 藤田遺跡

一九七七年以前出土の木簡(5)

藤原宮跡

字訓史資料としての平城宮木簡

——古事記の用字法との比較を方法として——

小林 芳規
鬼頭 清明
田中 琢
水藤 真

平城宮出土の衛士関係木簡について

木簡とコンピュータ
書評・『草戸千軒——木簡』——

彙報

価格 三五〇〇円 1500円